取説番号	８Ｅ８Ｈ０８９３

工事店様用　　お客様用

４回線型電気錠操作盤

ＢＡＮ－ＡＳ４

取　扱　説　明　書

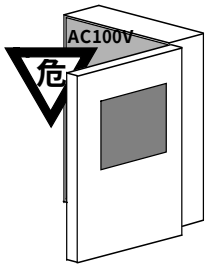
《工事店様へお願い》
取付・調整の後、本書をお客様にお渡しください

美和ロック株式会社

安全のために

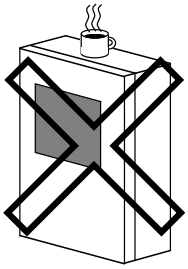
本装置は、１００ボルト電源（ＡＣ１００Ｖ）を使用します。感電・漏電・火災等の事故や、故障の元となりますので、ここに書かれている注意事項を必ずお守りください。

お客様へ



分解・取り外しや改造はしないでください！

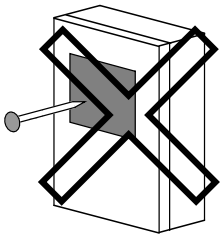
修理や移設・取り外しは、工事店様または弊社サービス店におまかせください。
発熱等の異常が発生した場合は、電源を切り、弊社へご連絡ください。



水などの液体をかけたり、水に濡れた手で触らないでください！

装置の中に、針やヘヤピンなどの金属類を差し込まないでください！

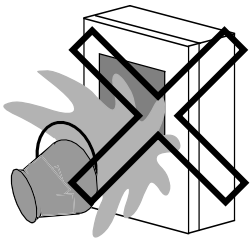
日常は、製品のフタを閉めてお使いください。



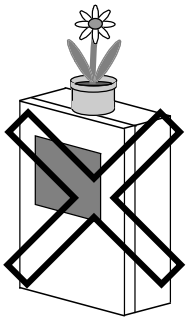
工事店様へ

電源の配線は特に注意して、抜け・ゆるみが無いように確実に結線してください！

ＡＣ１００Ｖ電源の工事は、電気工事士の資格所持者が行ってください。



雨や水のかかる場所・湿気の多い場所や、ホコリの多い場所には設置しないでください！



直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温となる場所には設置しないでください！

はじめに

このたびは、ＢＡＮ-ＡＳ４（４回線型電気錠操作盤）をご採用いただき誠にありがとうございます。
この説明書は、ＢＡＮ-ＡＳ４をご利用頂くときに注意していただきたいことを、書いてあります。
お客様に満足していただけるよう、本書に従い正しくご利用ください。

［目次］

付属品をお確かめください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

設定内容記入欄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

操作部の見方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

錠前に関係する言葉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

運用モードと電気錠の動作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

電源を入れる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

電気錠を解錠する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
個別に一回解錠する
個別に解錠する
全ての電気錠を一斉に解錠する

電気錠を施錠する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
個別に解錠した電気錠を施錠する
解錠している電気錠を一斉に施錠する
一斉解錠した電気錠を施錠する
火報信号（一斉解錠入力）で解錠した電気錠を施錠する

外部入力による動作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

防犯センサーの監視 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

センサーを監視する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

センサーの監視を停止する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

警報がでます ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

警報を止める ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

操作盤のテストをする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

停電のときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

ﾊﾞｯﾃﾘｰのチェックをする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

ﾊﾞｯﾃﾘｰの寿命について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

参考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
電気錠の非常開装置について
非常開装置の操作の方法

機器仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

お客様へ保守契約のご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

付属品をお確かめください

○フタ開キー ---------- ２本
※紛失した場合のために、鍵ナンバーを控えてください。
（鍵ナンバー：　　）

追加のご依頼は美和ロック株式会社、支店営業所に
鍵ナンバーを添えてご発注ください。

○ヒューズ　AC100V　10A ---------- ２本

○取付・調整説明書 ---------- １部

○取扱説明書 ---------- １部

○保証書 ---------- １部

設定内容記入欄

下表にご使用になるBAN-AS4の設定内容を示します。
運用ﾓｰﾄﾞにより電気錠の動作が異なりますので、ご確認の上「運用モードとは」をお読みください。
もし記入されていない場合は取付を行った工事店様にお問い合わせください。
設定の変更は「取付・調整説明書」をご覧ください。

設定内容

	電気錠取付場所	錠種	一括制御１	一括制御２	運用ﾓｰﾄﾞ	解錠時間	操作表示器	ｲﾝﾀｰﾎﾝ入力
１回線								
２回線								
３回線								
４回線								

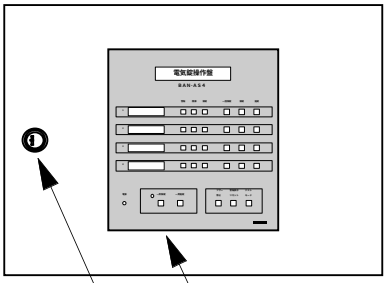
	HA入力(JEM-A)	ﾀｲﾏｰ入力	警報出力	開扉警報	停電時解錠	手動解錠警報
１回線						
２回線						
３回線						
４回線						

火報入力	火報入力接点種	代表警報出力	連続解錠入力優先	SSP出力切替

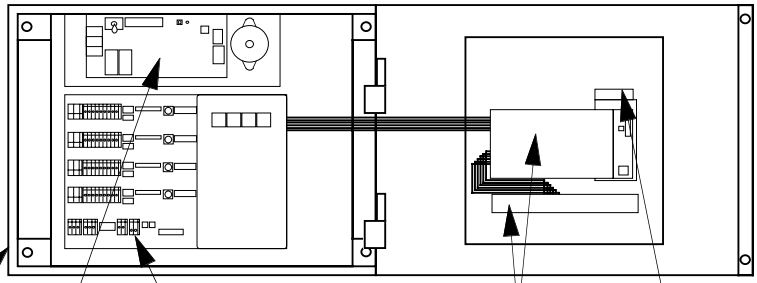
各部の名称

感電注意！盤内へ無造作に手を入れないでください。
操作盤内にはAC100Vの端子や回路があります。

〈正面図〉



〈フタ開図〉

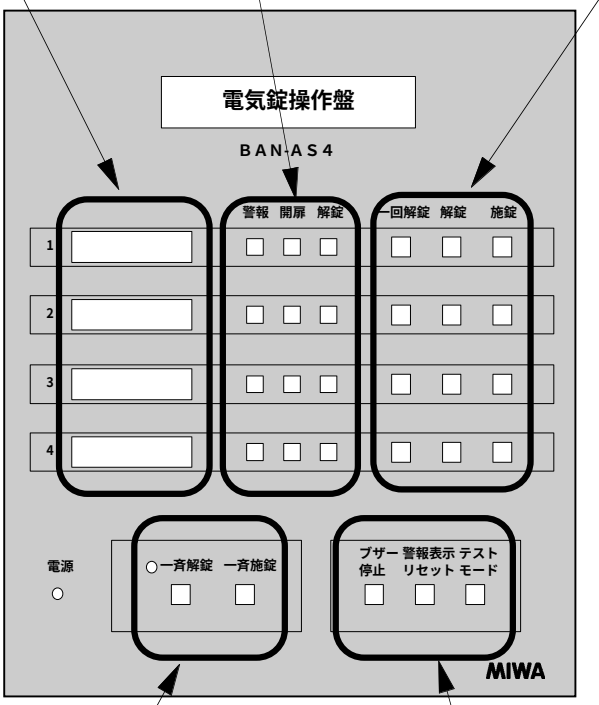


〈パネル詳細図〉

銘板
電気錠扉の場所
がわかります。

表示ランプ
電気錠および扉の状態を
ランプで表示します。

操作ボタン
電気錠を制御するための押しボタンです。
電気錠１個毎に３個のボタンがあります。

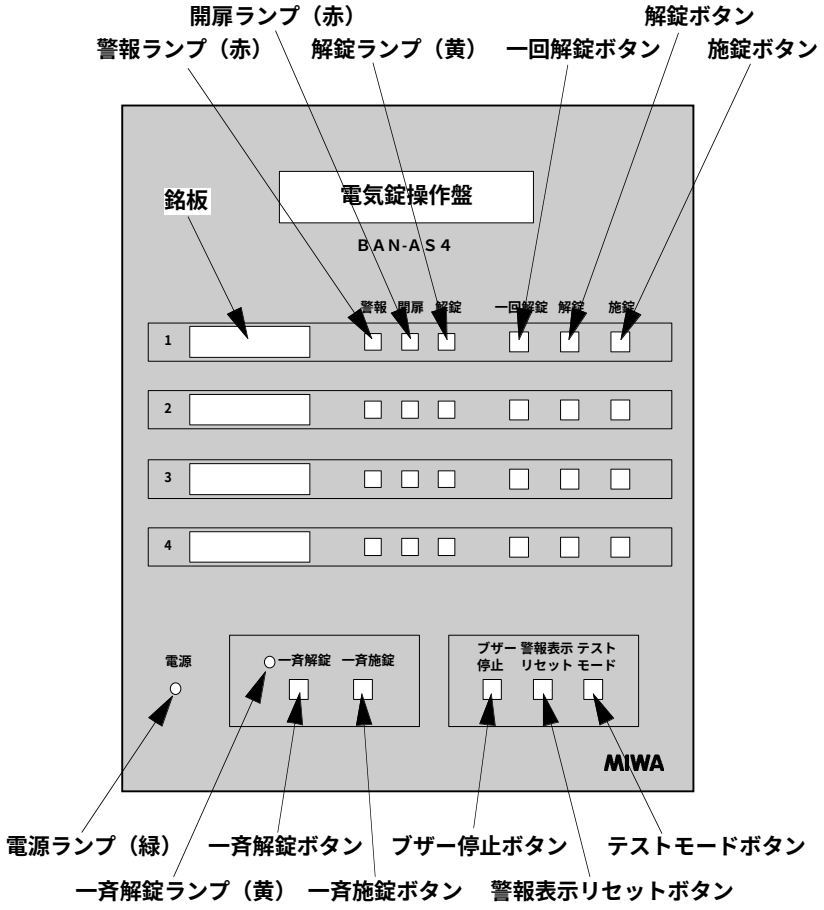


一斉操作用ボタン
全ての電気錠を一括して
操作するためのボタンです。

管理操作用ボタン
操作盤の試験、各電気錠の警報を
確認、解除するためのボタンです。

操作ボタンは鍵先、爪、ペン先などの鋭利なもので操作しないでください。
操作パネルが汚れた場合は、乾いた布でふき取ってください。

〈パネル詳細図〉



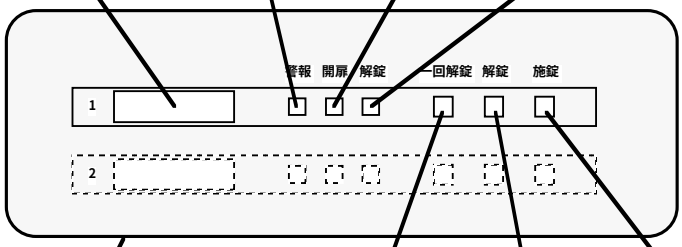
操作部の見方

銘板
電気錠扉の場所名を記入します。

警報ランプ
電気錠が異常状態になると点灯（点滅）します。

開扉ランプ
扉が開いているとき点灯します。警報時に点滅します。

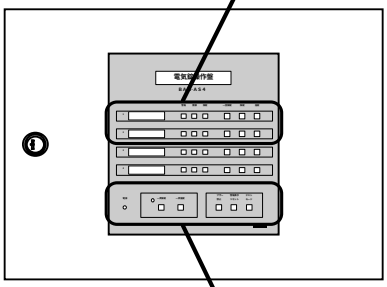
解錠ランプ
電気錠が解錠しているとき点灯（点滅）します。



一回解錠ボタン
このボタンを押すと電気錠が設定時間内解錠します。

解錠ボタン
このボタンを押すと電気錠が解錠します。

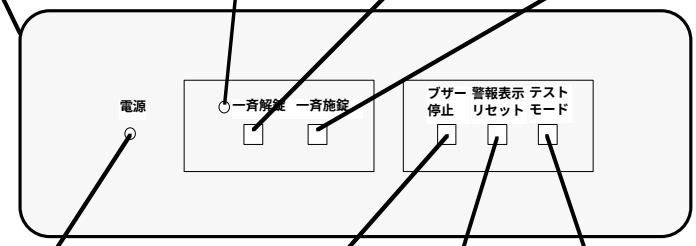
施錠ボタン
このボタンを押すと電気錠が施錠します。



一斉解錠ランプ
一斉解錠ボタンを押した時点滅します。火報信号が入力した時点灯します。

一斉解錠ボタン
このボタンを押すと全ての電気錠が一斉に解錠します。

一斉施錠ボタン
このボタンを押すと全ての電気錠が一斉に施錠します。



電源ランプ
電源の100Ｖが入っているとき点灯します。
ﾊﾞｯﾃﾘｰ使用時は点滅します。

ブザー停止ボタン
このボタンを押すと警報ブザーが鳴り止みます。

警報表示ﾘｾｯﾄボタン
このボタンを押すと警報ランプが消灯します。
警報状態中は操作できません。

テストモードボタン
このボタンを押すと操作盤のテストを行います。

錠前に関係する言葉

セ　ジョウ
施錠
　扉を開けられない状態のことで、鍵を持たない人は
　シリンダー側から扉を開けることはできません。

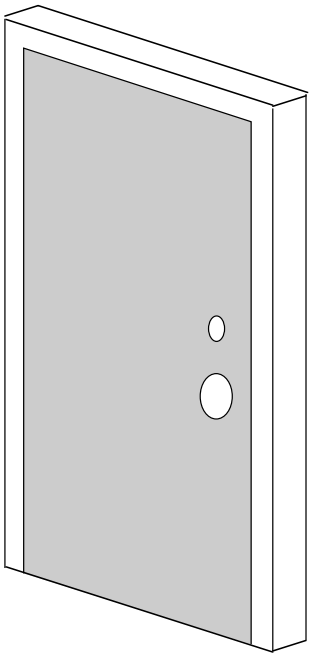
カイジョウ
解錠
　扉を開けられる状態のことで、鍵を持たない人でも
　扉を開けられます。

イッ カイ カイジョウ
一回解錠
　一回だけ扉を開けられる状態のことです。
　扉を開け、閉めると施錠します。
　扉を開けなくても一定時間（一回解錠時間）経過すると
　施錠します。

カイ　ヒ
開扉
　扉が開いている状態です。
　（錠前は解錠状態です）

ヘイ　ヒ
閉扉
　扉が閉まっている状態です。
　扉が閉まっているだけで、施錠しているとは限りません。

使用例



[室内側]

鍵を持たない人でも、サムターンを
ひねると解錠できます。
つづけて開扉することもできます。

[室外側]

鍵を持たない人は解錠不可
（もちろん開扉不可）

《閉扉かつ施錠状態の扉》

運用モードと電気錠の動作

■　Ａモード：閉扉自動施錠機能

扉が閉まると電気錠が自動的に施錠になる動作で使用することをＡモード運用と言います。
解錠の状態に一回解錠と、連続解錠の２つの状態があります。

ａ）一回解錠　：一回解錠操作をすると電気錠が解錠します。
扉を開け、閉めると施錠します。扉を開けなくても一定時間（一回解錠時間）を経過すると施錠します。

ｂ）連続解錠　：連続解錠操作すると電気錠が解錠します。
扉は何度でも開閉することができます。

解錠する方法により、電気錠は以下の動作をします。

１）ｷｰ､ｻﾑﾀｰﾝでの操作：一回解錠となります。

２）ｲﾝﾀｰﾎﾝや外部押釦での解錠操作：一回解錠となります。
（ｲﾝﾀｰﾎﾝ入力）

３）内蔵ﾀｲﾏｰや外部設備ﾀｲﾏｰ接続の場合：指定の時間中は連続解錠となります。
（ﾀｲﾏｰ入力）

４）火報設備との接続があり、発報したとき：連続解錠となります。
（一斉解錠入力）

５）ＨＡ機器が接続されているとき：ＨＡ機器の操作で一回解錠となります。
（JEM-A端子）

６）操作表示器での操作：一回解錠、連続解錠が行えます。

■　Ｂモード：施解錠繰り返し機能

電気錠を施錠と解錠を交互に繰り返す動作で使用することをＢモード運用と言います。

１）ｷｰ､ｻﾑﾀｰﾝでの操作：施錠、解錠が行えます。

２）ｲﾝﾀｰﾎﾝや外部押釦での操作：施錠している場合は解錠、解錠している場合は施錠になります。
（ｲﾝﾀｰﾎﾝ入力）

３）内蔵ﾀｲﾏｰや外部設備ﾀｲﾏｰ接続の場合：指定の時間中は連続解錠となります。
（ﾀｲﾏｰ入力）

４）火報設備との接続があり、発報したとき：連続解錠となります。
（一斉解錠入力）

５）ＨＡ機器が接続されているとき：ＨＡ機器の操作で施錠している場合は解錠、解錠している場合は施錠になります。
（JEM-A端子）

６）操作表示器：施錠と解錠が行えます。

■　共通機能

１）盤面での操作：操作釦により、一回解錠および解錠、施錠が行えます。
※操作盤面の一回解錠、解錠、施錠の押ボタン操作による電気錠動作はＡモード、Ｂモードに関らず共通の動作になります。

２）自動扉出力アダプターＡＤ２１９を接続している場合は、自動扉を解錠／施錠できます。
※Ａモード、Ｂモードどちらでも運用できます。

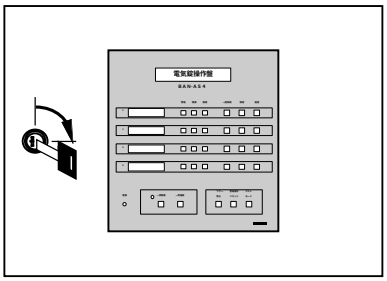
３）防犯センサーを接続している場合は、防犯センサーの監視ができます。

電源を入れる

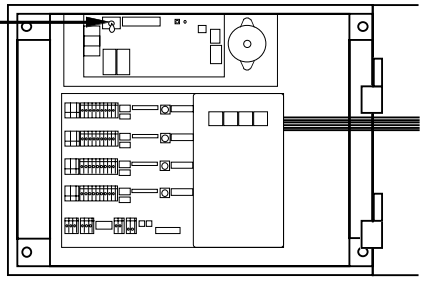
感電注意！盤内へ無造作に手を入れないでください。
操作盤内にはAC100Vの端子や回路があります。

指詰め注意！扉の吊元に指を入れないでください！

1．専用キーで操作盤のフタをあけます。
キーを差し込み、右に回しそのままフタをひくと開きます。

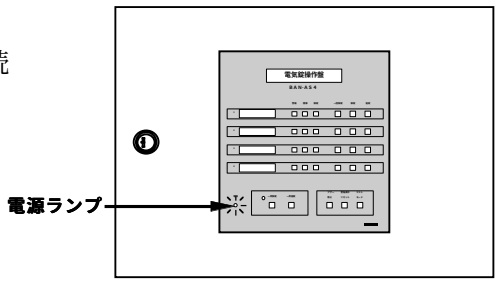


2．電源スイッチのつまみを上にたおします。



3．操作盤のフタを閉め、キーを左にもどし、ぬきます。

4．電源ランプが点灯していることを確認します。
点灯していないときは操作盤に接続されているＡＣ１００Ｖ電源のブレーカーを確認してください。



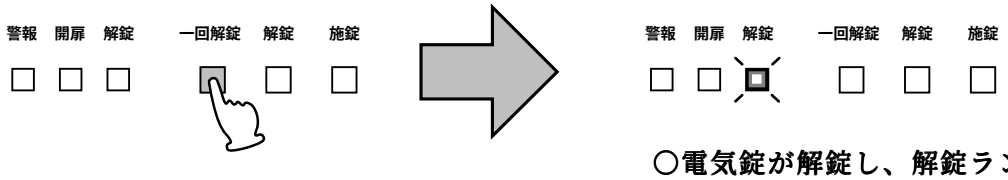
電気錠を解錠する

※自動扉出力ＡＤ２１９を使用している場合も同動作です。

■　個別に一回解錠する

：点灯状態　：高速点滅状態　：点滅状態　□：消灯状態　：ブザー鳴動状態

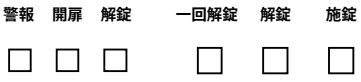
一回解錠ボタンを押します



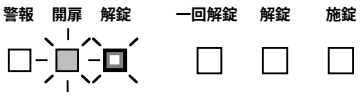
○電気錠が解錠し、解錠ランプが点滅します。

扉を開けなかった場合

○設定された解錠時間経過後、
自動的に電気錠が施錠し、
解錠ランプが消灯します。

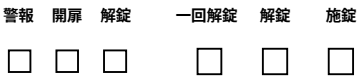


扉を開けると



○開扉ランプが点灯します。

扉を閉めると



○電気錠が施錠し、解錠ランプ、
開扉ランプが消灯します。

※自動扉は扉の開閉に関係なく、解錠時間経過後に自動扉出力がＯＦＦします。

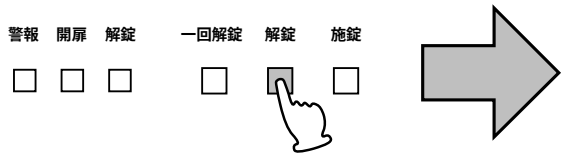
ご参考

○閉扉自動施錠モード（Ａモード）設定で
1）施錠時にキーまたはサムターンで解錠した場合※1
2）インターホン入力が入力された場合
3）操作表示器で一回解錠釦を押した場合にも同様の動作をします。

※１　電気錠にALT,AMT,AMRシリーズをご使用の場合は、扉を開閉しなければ施錠しません。

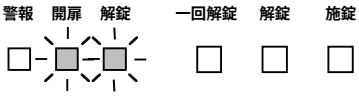
■　個別に解錠する

解錠ボタンを押します



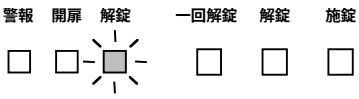
○電気錠が解錠し、解錠ランプが点灯します。

扉を開けると



○開扉ランプが点灯します。

扉を閉めると

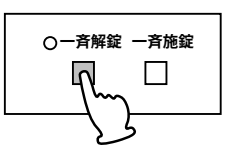


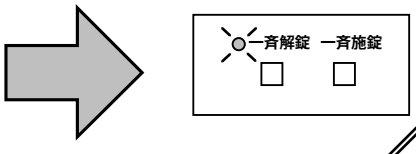
○開扉ランプが消灯します。
扉を閉めても電気錠は解錠したままとなります。

※施錠するには施錠ボタンを押します。
詳細は１１頁参照。

■　全ての電気錠を一斉に解錠する

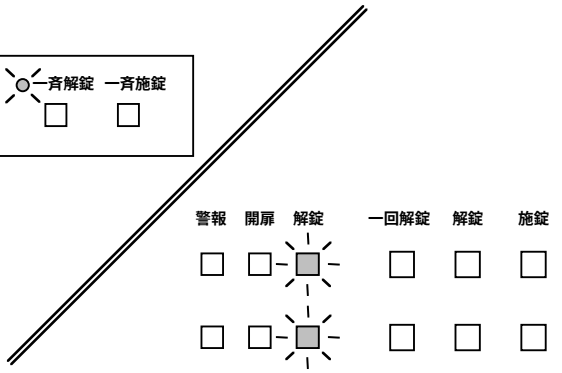
一斉解錠ボタンを押します





○一斉解錠ランプが点滅し、全ての電気錠が解錠します。

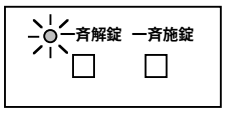
○警報ブザーが鳴ります。



○全ての解錠ランプが点灯します。
（未使用回線は除く）

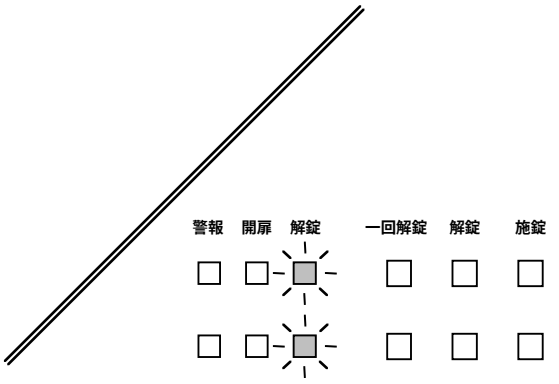
※警報ブザーはブザー停止ボタンを押すと鳴り止みます。
　ブザー停止ボタンを押さなかった場合は約10分後に鳴り止みます。
※施錠は再度一斉解錠ボタンを押し、一斉施錠ボタンを押します。
　詳細は１２頁参照。

火報信号（一斉解錠入力）で解錠（接続されているとき）



○一斉解錠ランプが点灯し、全ての電気錠が解錠します。

○警報ブザーが鳴ります。



○全ての解錠ランプが点灯します。
（未使用回線は除く）

※警報ブザーはブザー停止ボタンを押すと鳴り止みます。
　ブザー停止ボタンを押さなかった場合は約10分後に鳴り止みます。
※施錠は火報信号断後に、一斉施錠ボタンを押します。詳細は１３頁参照。

注意！：一斉解錠釦操作、火報信号（一斉解錠入力）が入力された場合、
代表警報接点出力が出力されます。
代表警報接点出力を警備機器等に接続している場合はご注意ください。

電気錠を施錠する

※自動扉出力ＡＤ２１９を使用している場合も同動作です。

《こんなときは施錠できません》

1．扉が開いている時　→　扉を閉めて下さい。

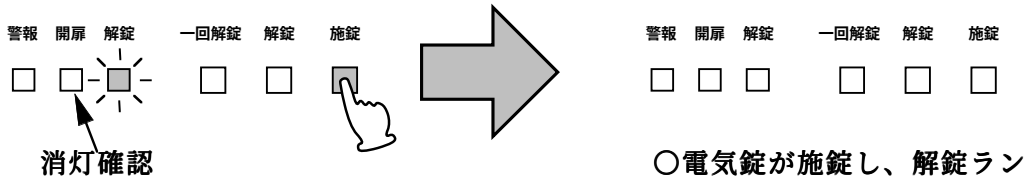
2．電気錠の非常開装置で解錠されている時（一部の電気錠を除く）　→　電気錠の非常開装置をリセットして下さい。詳細は２３頁以降参照。

3．一斉解錠ボタンが押されている時（一斉解錠ランプが点滅している時）　→　１２頁の方法で施錠します。

4．この装置以外から解錠依頼信号が入力している時　→　信号元の機器で入力信号をリセットして下さい。火報信号（一斉解錠入力）は火報信号断後に、一斉施錠ボタンを押します。詳細は１３頁参照。

■　個別に解錠した電気錠を施錠する

施錠ボタンを押します

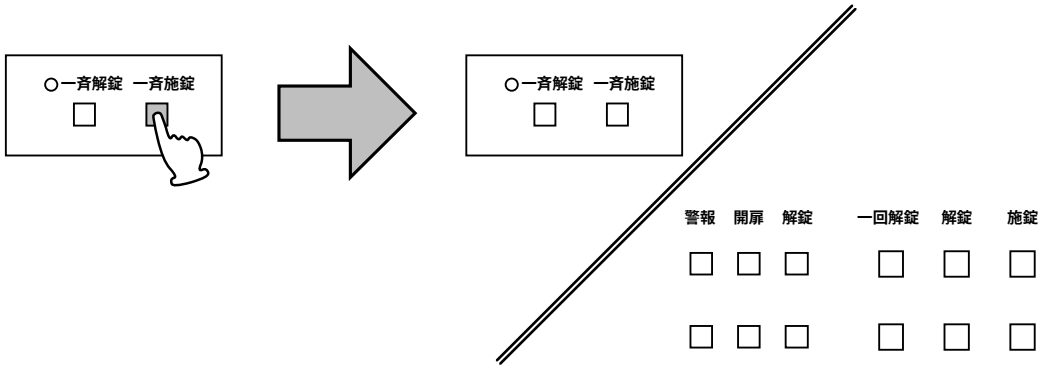


○電気錠が施錠し、解錠ランプが消灯します。

※自動扉の場合は、扉の開閉に関係なく自動扉出力がＯＦＦします。

■　解錠している電気錠を一斉に施錠する

一斉施錠ボタンを押します



※扉が開いている電気錠は施錠できません。

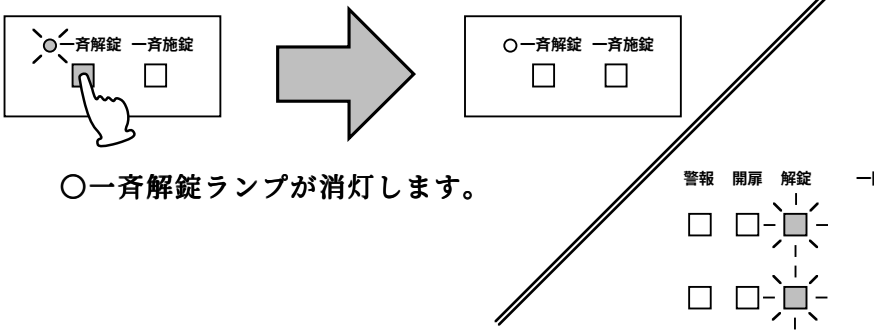
○全ての電気錠が施錠し、全ての解錠ランプは消灯します。

※自動扉の場合は、扉の開閉に関係なく自動扉出力がＯＦＦします。

■　一斉解錠した電気錠を施錠する

一斉解錠ボタンで解錠した電気錠を施錠する

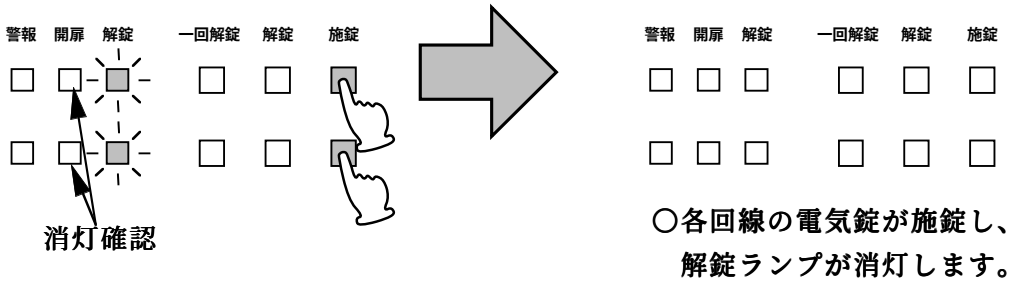
○再度、一斉解錠ボタンを押します。



○一斉解錠ランプが消灯します。

○全ての電気錠は解錠したままです。

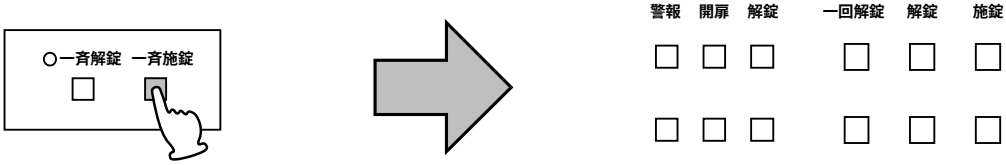
方法１：各回線の施錠ボタンを押します。



○各回線の電気錠が施錠し、
解錠ランプが消灯します。

※扉が開いている電気錠は施錠できません。
※自動扉の場合は、扉の開閉に関係なく自動扉
出力がＯＦＦします。

方法２：一斉施錠ボタンを押します。

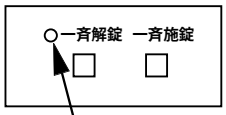


○全ての電気錠が施錠し、全ての
解錠ランプは消灯します。

※扉が開いている電気錠は施錠できません。
※自動扉の場合は、扉の開閉に関係なく自動扉
出力がＯＦＦします。

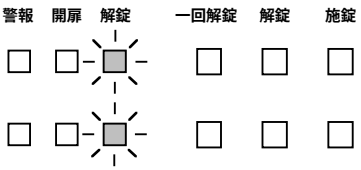
火報信号（一斉解錠入力）で解錠した電気錠を施錠する

○一斉解錠ランプが消灯していることを確認する。



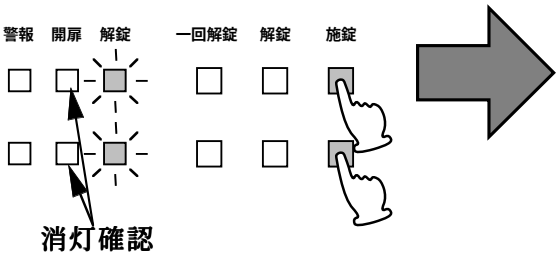
消灯確認

《消灯していないときは》
信号もとの機器（火報盤等）を
リセットしてください。

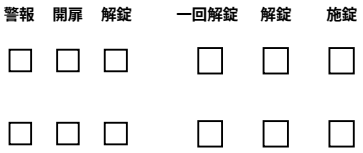


○全ての電気錠は解錠したままです。

方法１：各回線の施錠ボタンを押します。



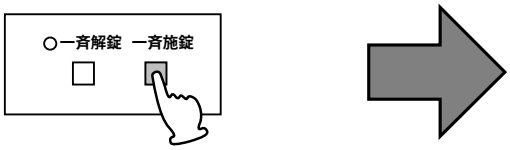
消灯確認

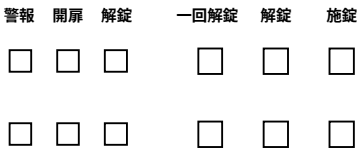


○各回線の電気錠が施錠し、
解錠ランプが消灯します。

※扉が開いている電気錠は施錠できません。
※自動扉の場合は、扉の開閉に関係なく自動扉
出力がＯＦＦします。

方法２：一斉施錠ボタンを押します。





○全ての電気錠が施錠し、全ての
解錠ランプは消灯します。

※扉が開いている電気錠は施錠できません。
※自動扉の場合は、扉の開閉に関係なく自動扉
出力がＯＦＦします。

外部入力による動作

○火報入力（一斉解錠入力）の動作
火報信号が入力すると全電気錠を解錠します。
復帰方法は「火報信号で解錠した電気錠を施錠する」をご参照ください。

○タイマーによる動作
タイマー信号が入力すると該当箇所の電気錠のみを解錠します。

操作盤は出荷時には連続解錠優先入力設定が「優先」に設定されています。
この設定状態ではタイマー信号が入力中に、他の操作、入力があった場合にその操作、
入力の動作を無視し、連続解錠を保持します。

例：該当箇所のタイマー信号が入力中に操作盤面の一回解錠ボタン等の操作があっても、
電気錠は連続解錠のままです。

他の操作、入力があった場合にその操作、入力の動作を行いたい場合は連続解錠優先入力設定を
「否優先」に設定します。
（設定方法は取付・調整説明書をご参照ください）
この設定にした場合、タイマー信号が入力中であっても他の入力の動作を行います。

例：該当箇所のタイマー信号が入力中でも操作盤面の一回解錠ボタンが押されると、電気錠は
連続解錠から一回解錠の動作に変わります。

○インターホンまたは外部押釦による動作
運用モードにより動作が異なります。

閉扉自動施錠モード（Ａモード）に設定されているとき
信号が入力されると該当箇所の電気錠が解錠します。
扉を開け、閉めると施錠します。扉を開けなくても一定時間（一回解錠時間）を経過すると
施錠します。

施解錠繰り返しモード（Ｂモード）に設定されているとき
入力がある度に施錠／解錠を繰り返します。但し、開扉しているときに入力があった場合は
施錠しません。

○ＨＡ端子（ＪＥＭ－Ａ）の場合
インターホン入力と同じ動作をします。

○操作表示器の場合
運用モードにより動作が異なります。

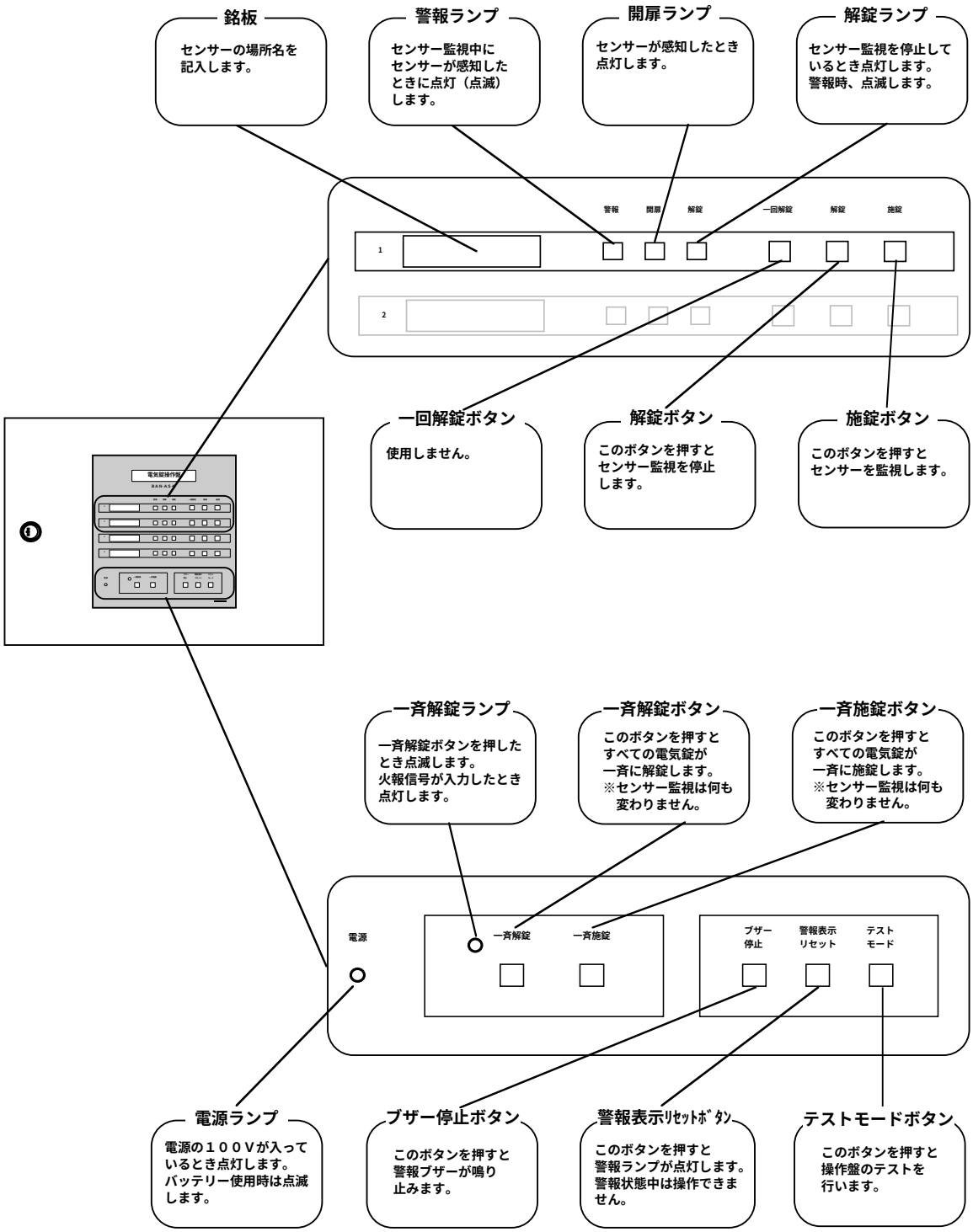
閉扉自動施錠モード（Ａモード）に設定されているとき
１）連続解錠釦（上側）を押すと電気錠は解錠します。扉は何度でも開閉することができます。
２）施錠するには再度、連続解錠釦（上側）を押します。開扉しているときに操作すると、
一回解錠状態になり、扉が閉まったときに施錠します。
３）一回解錠釦（下側）を押すと電気錠が解錠します。
扉を開け、閉めると施錠します。扉を開けなくても一定時間（一回解錠時間）を経過すると
施錠します。

施解錠繰り返しモード（Ｂモード）に設定されているとき
１）解錠釦（下側）を押すと電気錠は解錠します。扉は何度でも開閉することができます。
２）施錠釦（上側）を押すと電気錠は施錠します。但し、開扉しているときの操作は無視されます。

○停電による動作
（オプションのバッテリーＢＡＮ―ＡＳ４・ＢＡＴが必要です）
停電が起こると停電時解錠設定を「させる」に設定してある回線の電気錠が解錠します。

防犯センサーの監視

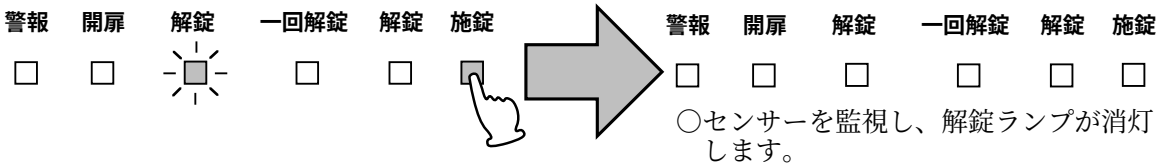
■　操作盤の見方



センサーを監視する

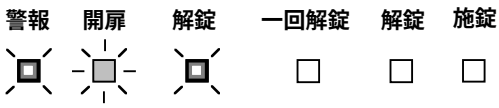
■この操作をすると、センサーが感知したときに表示とブザーで警報をお知らせします。

施錠ボタンを押します



○センサーを監視し、解錠ランプが消灯します。

センサーが感知したとき

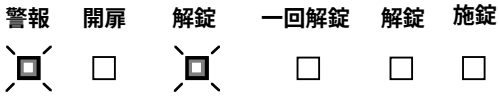


○開扉ランプが点灯し、警報ランプと解錠ランプが点滅します。

○ブザーが鳴ります。

※警報ブザーはブザー停止ボタンを押すと鳴り止みます。
ブザー停止ボタンを押さなかった場合は約10分後に鳴り止みます。

センサー感知が切れたとき

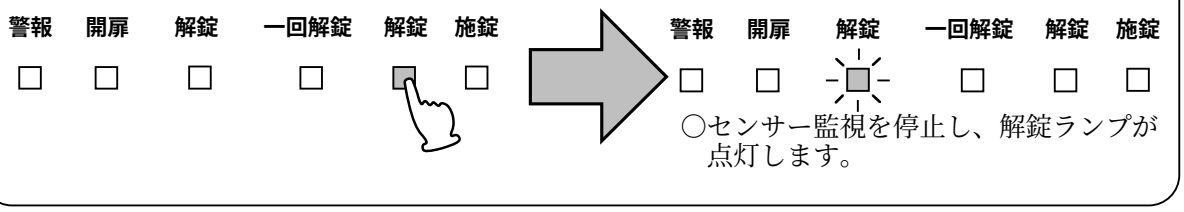


○開扉ランプが消灯します。

センサーの監視を停止する

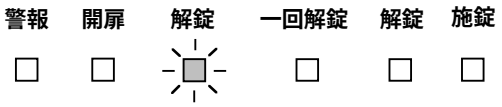
■この操作をすると、センサーが感知しても警報を発しません。

解錠ボタンを押します



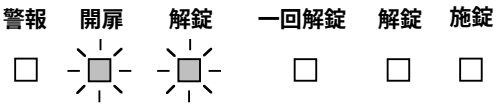
○センサー監視を停止し、解錠ランプが点灯します。

センサーが感知していないとき



○開扉ランプが消灯しています。

センサーが感知しているとき



○開扉ランプが点灯しています。

警報が出ます

■ **下記の状態になると警報を出力します。**
警報の止め方は１９頁参照。

：点灯状態　：高速点滅状態　：点滅状態　□：消灯状態　：ブザー鳴動状態

1) 電気錠扉がこじ開けられたとき
（施錠状態のまま開扉されたとき）
設定によりこじ開け警報を使えなくする
こともできます。取付・調整説明書１４頁参照。

2) 一回解錠中に規定時間以上、電気錠扉が開放放置されたとき
設定により扉開放警報を使えなくすること
もできます。取付・調整説明書１５頁参照。
扉を閉めると警報は消滅します。

3) 電気錠の施錠不良が発生したとき
（電気錠と受座の位置がずれていて施錠
できないとき等）
受座の位置調整等で施錠ができると警報は
消滅します。

4) 非常開装置付電気錠の非常開装置を操作したとき

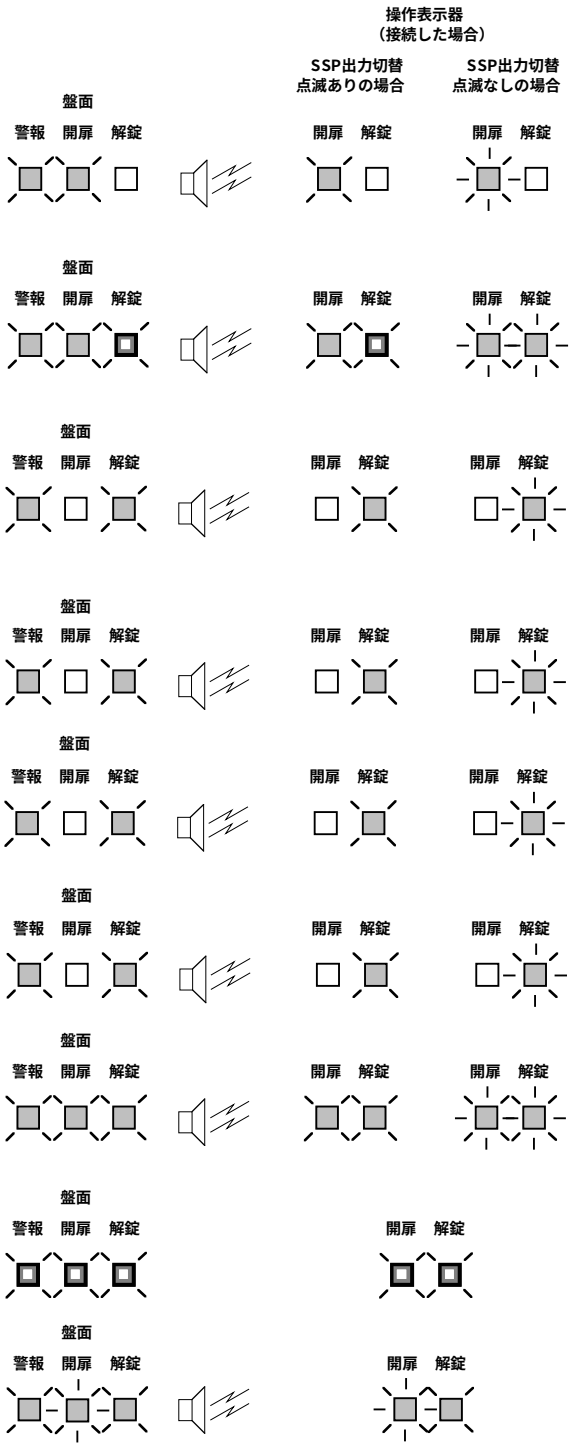
5) 【手動解錠警報の設定が「あり」の場合】サムターンや非常開装置などで、電気錠を解錠したとき

6) 【停電時解錠の設定が「させる」の場合】停電し、電気錠が解錠したとき

7) 操作盤と電気錠間の通線が断線、短絡したとき

8) 錠種判定不能のとき、設定間違いのとき

9) 【センサー監視設定の場合】センサー監視中にセンサーが感知したとき



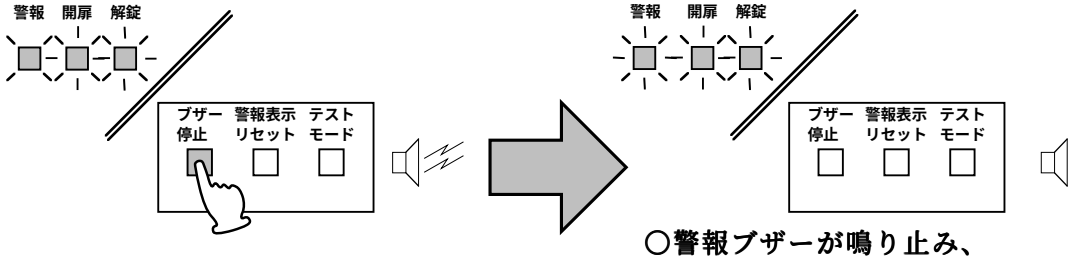
※警報ブザーを止めると警報ランプは点灯に替わります。

警報を止める

○警報ブザーはブザー停止ボタンを押すことで、いつでも止められます。
○警報ランプは警報の原因を復旧し、警報表示リセットボタンを押すまで消灯できません。

警報ブザーを止める

○ブザー停止ボタンを押します。



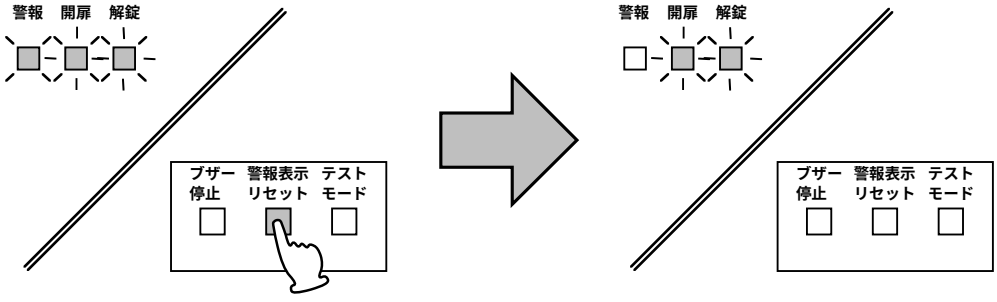
○警報ブザーが鳴り止み、
警報ランプが点灯に替わります。

警報ランプを消す

○警報の原因を復旧する。

- 断線、短絡 → 配線の確認
- こじ開け → 扉の確認
- 施錠不良 → 扉の確認（建て付け）
- 開扉警報 → 扉の確認
- 非常開操作時 → 非常開装置の確認
- 手動解錠 → 扉の確認
- 停電時解錠 → 電源の確認
- センサー異常 → センサーの確認

○警報表示リセットボタンを押します。



○警報ランプが消灯します。

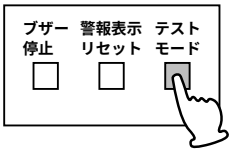
※警報ブザーが鳴っているときは、警報ランプは消灯しません。
警報ブザーを停止させてから、警報表示リセットボタンを押してください。
※警報ランプが消灯しても電気錠は施錠しません。
必要に応じて、各電気錠毎に施錠操作を行ってください。

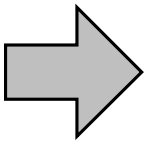
操作盤のテストをする

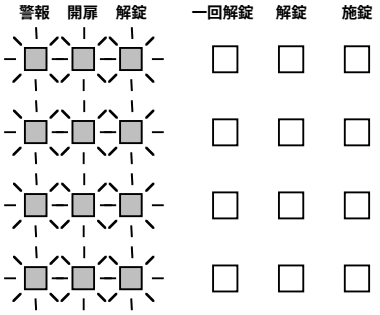
注意！：テストモードボタンを押すと警報接点出力が出力されます。
警報接点出力を警備機器等に接続している場合は対応措置を施した上で操作してください。

操作盤のテストをする

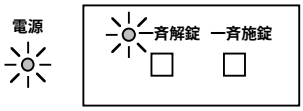
○テストモードボタンを押す



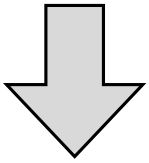




※一度テストモードを行うと約５秒間はテストモードを受け付けません。

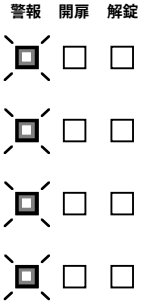


○全ランプが点灯（約２秒間）し、ブザーが鳴動します。
このとき電気錠のラインの確認、操作盤自身の確認も同時に行います。

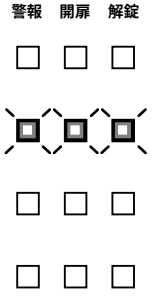


1)全て正常ならば
○電源ランプのみ点灯します。
その後（約３秒後）、通常の動作になります。

2)操作盤の異常ならば
○全回線の警報ランプが３回点滅します。



3)特定の回線の異常ならば
○異常回線の警報、開扉、解錠ランプが３回点滅します。その後、正常な回線は通常の動作になります。
例）２回線が異常の場合



※操作表示器の表示はテストの前の状態を保持します。
テストモード中の制御（操作）入力による動作はテストモード終了後に行います。

停電のときは

オプションの停電補償用バッテリーが組込まれている場合は装置全体が最低３０分間停電補償されます。

《ご注意ください》

○バッテリーの組込みがない場合
停電中は操作盤での操作および状態確認はできません。鍵またはサムターンで施解錠操作してください。錠種により停電中の電気錠は施錠できなくなるものがあります。
また、電気錠の施解錠状態は錠種により、異なった状態になります。下表参照。

○バッテリーの組込みがある場合
停電後、最低３０分間は操作盤で通常と同じ操作および状態確認ができます。

停電が発生すると、警報ブザーが鳴ります。
警報ブザー停止ボタンで警報ブザーを止め、ご使用ください。

【停電時解錠の設定が「させる」の場合】
停電が発生すると、電気錠が解錠されます。
[復電したとき]　Ａモード：施錠されます。開扉の場合は閉扉後、施錠されます。
Ｂモード：閉扉なら施錠されます。
開扉なら解錠のままになります。

停電補償時間が過ぎ、停電補償用バッテリーの容量がなくなると操作盤での操作および状態確認ができなくなります。
そのときは錠種により停電中の電気錠は施錠できなくなるものがあります。
また、電気錠の施解錠状態は錠種により、異なった状態になります。下表参照。

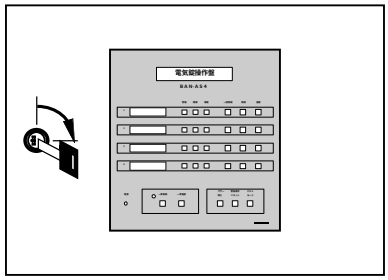
電気錠種	操作盤が機能していないときの状態	操作のしかた
ALT,ALTE,ALTEP,ALTA,ALTAE ALTAEP,AMT,AMTE,AMTEP AMTA,AMTAE,AMTAEP,ALGT ALGTE,AST,ASZ	**施錠状態になります。**	**・鍵、サムターンで解錠できます。** **・扉を閉めると自動施錠します。**
AL3M,ALME,ALMEP,AFF ALS,AMS ALA,ARA,ANS ALG,ALGE	**状態を保持します。** **施錠なら施錠のまま** **解錠なら解錠のまま**	**鍵、サムターンで解錠・施錠できます。**
ALR,ALRE,ALREP,ALRA ALRAE,ALRAEP,AMR,AMRE AMREP,AMRA,AMRAE AMRAEP,ALGR,ALGRE,ASR	**解錠状態になります。**	**施錠できません。**

ﾊﾞｯﾃﾘｰのﾁｪｯｸをする

感電注意！盤内へ無造作に手を入れないでください。
操作盤内にはAC100Vの端子や回路があります。

指詰め注意！扉の吊元に指を入れないでください！

■ ﾊﾞｯﾃﾘｰのﾁｪｯｸをする（ﾊﾞｯﾃﾘｰをご使用の場合）

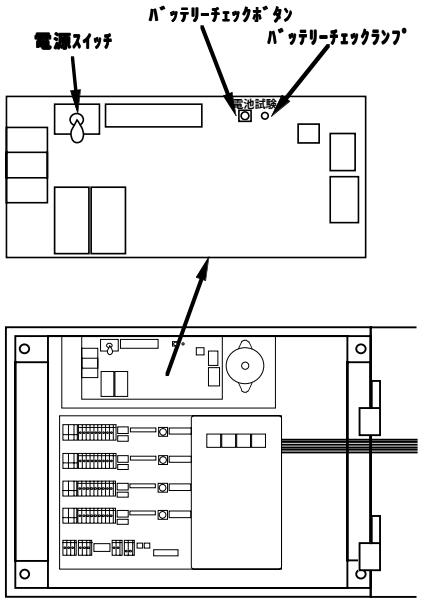


1．専用キーで操作盤のフタをあけます。
キーを差し込み、右に回しそのまま
フタをひくと開きます。

2．ＡＣ１００Ｖが供給されている状態で、ﾊﾞｯﾃﾘｰﾁｪｯｸ
ﾎﾞﾀﾝを押します。

約１秒後にﾊﾞｯﾃﾘｰﾁｪｯｸﾗﾝﾌﾟ（緑）が点灯します。
・ﾊﾞｯﾃﾘｰが正常であればﾊﾞｯﾃﾘｰﾁｪｯｸﾎﾞﾀﾝから
手を離した後、約10秒間点灯し続けます。

注）ランプ（緑）が10秒以内に消灯した場合
はﾊﾞｯﾃﾘｰの充電不足かﾊﾞｯﾃﾘｰの寿命が考え
られます。
電源ｽｲｯﾁをＯＮにして約48時間充電した
後、再度ﾊﾞｯﾃﾘｰﾁｪｯｸを行ってください。
48時間充電してもﾊﾞｯﾃﾘｰﾁｪｯｸでﾗﾝﾌﾟ（緑）
の消灯が早い場合は寿命がきたものと
考えられます
停電補償の性能を確保するため
にﾊﾞｯﾃﾘｰの交換をお願いします。



3．操作盤のフタを閉め、キーを左に回し
そのまま抜きます。

ﾊﾞｯﾃﾘｰの寿命について

バッテリーをご使用の場合
バッテリーには使用頻度に関わらず、『寿命』があります。停電補償機能を維持するため、２年ごとの交換をおすすめします。バッテリー交換日（使用開始日）を記入し、交換の目安とすることをおすすめします。
交換のご用命は美和ロック㈱本社、支店、営業所にご連絡ください。

※廃棄方法について
バッテリーは産業廃棄物に指定されており、廃棄には特別な処理が必要です。
廃棄する場合は美和ロック㈱本社、支店、営業所にご連絡ください。

参考

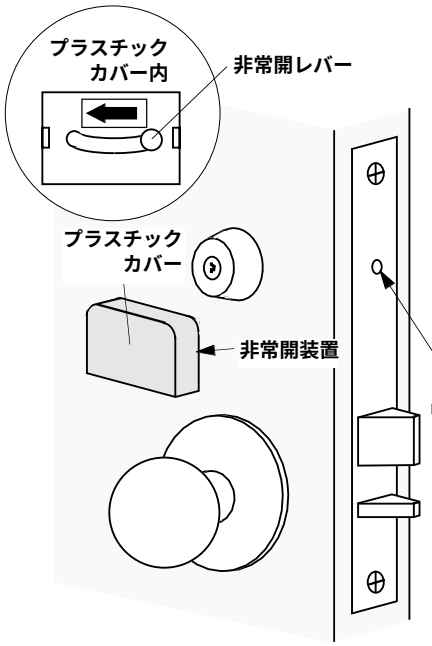
《非常開装置付電気錠※をご使用のユーザー様はお読みください。》
※ALRE,ALREP,ALRAE,ALRAEP,AMRE,AMREP,AMRAE,AMRAEP,ALTE,ALTEP,ALTAE,
ALTAEP,AMTE,AMTEP,AMTAE,AMTAEP,ALGRE,ALGTE,ALGE,ALME,ALMEP

■ 電気錠の非常開装置について

○施錠している扉を強制的に手動で解錠するための装置です。
○非常時に使用し、避難・救出作業を円滑に行えるようにします。
○電気錠の機械的な機能ですので、電気錠操作盤の機能が停止しているときでも使用できます。
※非常開装置で電気錠を解錠すると電気錠操作盤で警報が出ます。
※非常開装置の外観、操作方法、リセット方法は錠種により異なります。

■ 非常開装置の操作方法

ALRE・ALRAE



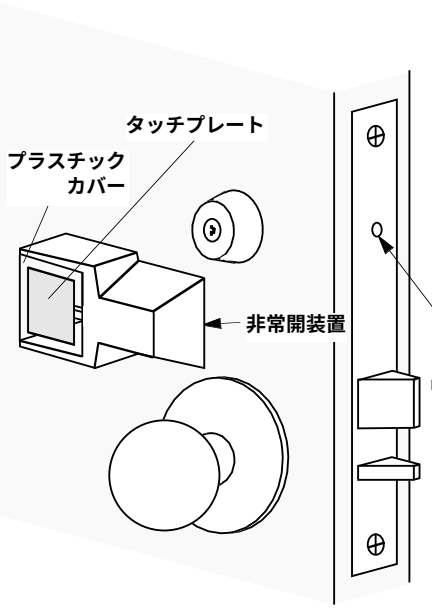
非常解錠方法

(1) プラスチックカバーを割る。
(2) 非常開レバーを矢印の方向にスライドする。

リセット方法

(1) リセットボタンを強く押し込む。

ALREP・ALRAEP



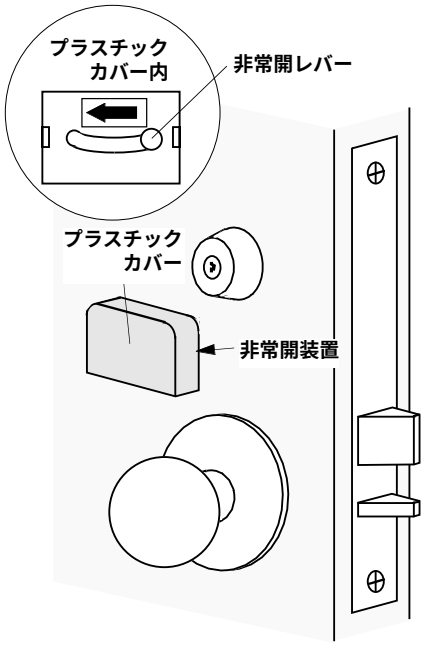
非常解錠方法

(1) プラスチックカバーを押し割りながらタッチプレートを押す。

リセット方法

(1) リセットボタンを強く押し込む。

ALTE・ALTAE



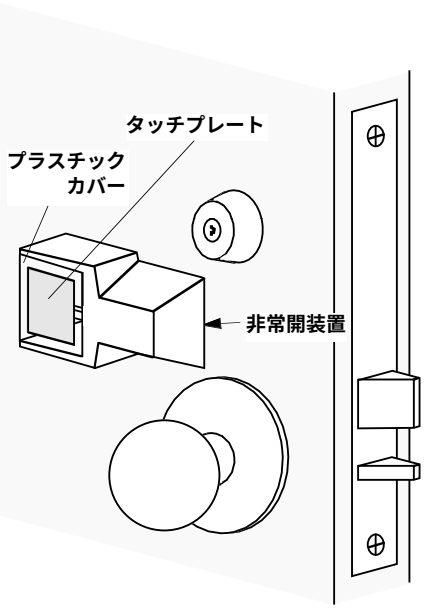
非常解錠方法

(1) プラスチックカバーを割る。
(2) 非常開レバーを矢印の方向に
スライドする。

リセット方法

(1) ノブを回し、扉を開けて再び
扉を閉める。

ALTEP・ALTAEP・AMTEP
AMTAEP・AMREP・AMRAEP



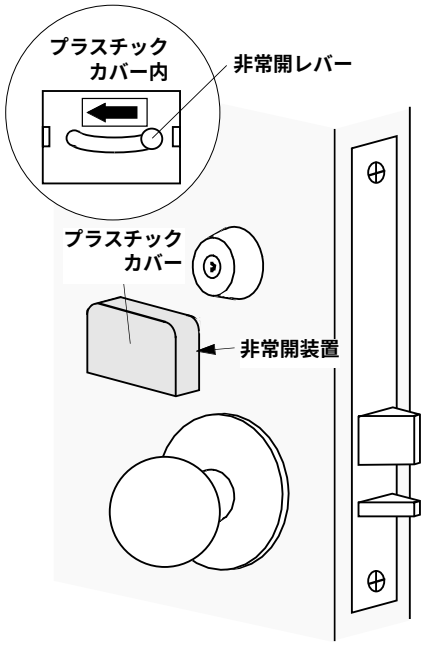
非常解錠方法

(1) プラスチックカバーを押し割り
ながらタッチプレートを押す。

リセット方法

(1) タッチプレートから手を離す。

AMTE・AMTAE・AMRE・AMRAE



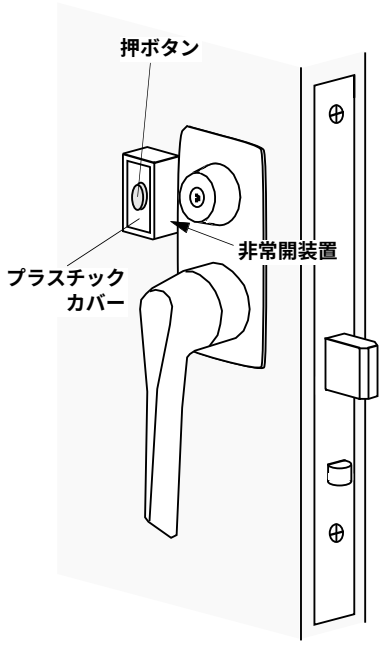
非常解錠方法

(1) プラスチックカバーを割る。
(2) 非常開レバーを矢印の方向にスライドする。

リセット方法

(1) 非常開レバーを矢印の反対方向にスライドする。

ALGE・ALGRE ・ALGTE



非常解錠方法

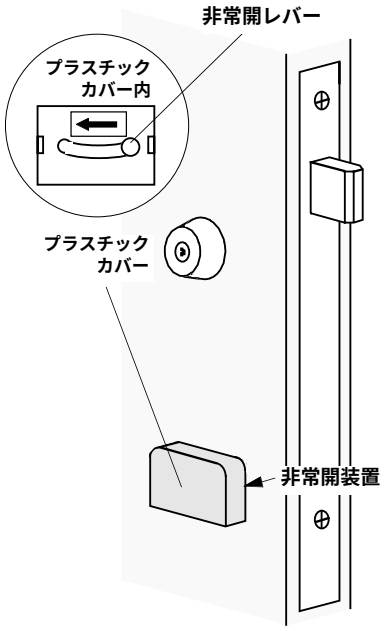
(1) 押ボタンをプラスチックカバーごと強く押します。

リセット方法

ALGE
(1) 鍵で施錠する。

ALGRE・ALGTE
(1) 非常開装置操作後、ハンドル操作をする。

ＡＬＭＥ



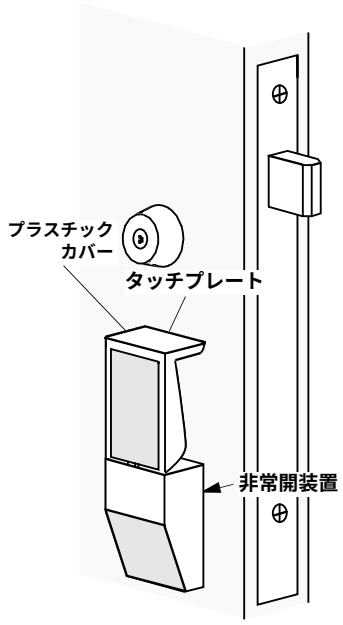
非常解錠方法

(1) プラスチックカバーを
引き割る。
(2) 非常開レバーを矢印の方向に
スライドする。

リセット方法

(1) 鍵で施錠する。

ＡＬＭＥＰ



非常解錠方法

(1) プラスチックカバーを押し割り
ながらタッチプレートを押す。

リセット方法

(1) 鍵で施錠する。

機器仕様

管理ゲート			４ゲート
基本機能			電気錠または電気ストライクの制御
外部入出力			ｲﾝﾀｰﾎﾝ入力　：無電圧Ａ接点　瞬時　ＤＣ３０Ｖ　０.１Ａ以上 ﾀｲﾏｰ入力　：無電圧Ａ接点　連続　ＤＣ３０Ｖ　０.１Ａ以上 一斉解錠入力：無電圧ＡまたはＢ接点　連続　ＤＣ３０Ｖ　０.１Ａ以上 JEM-A端子　：JEM-A準拠のコネクタ 警報出力　：無電圧Ｃ接点　連続　ＤＣ３０Ｖ　０.５Ａ以内 代表警報出力：無電圧Ｃ接点　連続　ＤＣ３０Ｖ　０.５Ａ以内
制御電気錠			美和ロックの電気錠（ALB,ALX,ALKを除く）または電気ストライク（ASEを除く）
一般仕様	箱	材質	ＳＰＣＣ　ｔ1.6
		仕上	本体：ライトイエロー（メラミン樹脂焼付　マンセル２.５Ｙ９／１　近似色　半ツヤ）
			操作部：ダークグレー（ポリエステルシート、白抜き文字）
	使用温湿度		０℃～＋５０℃、３０～９０ＲＨ　結露なき事
	電源		ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ　消費電力１１０ＶＡ
	外形寸法		４００（W）×３００（H）×１２０（D）　屋内壁面取付
	重量		約１１Ｋｇ

お客様へ保守契約のご案内

　この度は美和ロック製品のお買い上げありがとうございます。
弊社では製品をご購入いただきましたお客様に弊社製品を末永くお使いいただけるよう保守点検契約をおすすめしております。
設置状況、使用環境等で思わぬトラブルが発生してしまうこともあります。
安心とコストの両面からぜひとも保守点検契約をおすすめします。

そのメリットは
1.常にベストの状態で製品を使え、製品の寿命を最大限のばせること。
2.突然の故障を未然に防ぐのでトラブルや予定外の出費を抑えられること。
3.交換部品の取替え工事費がスポット対応よりも格安であること。
などで大変有利になっております。
保守点検作業は美和ロック株式会社サービス部または美和ロックが信頼度、技術力を認証している全国約900店（平成15年現在）の美和ロックサービス代行店が行いますので安心です。
ご契約につきましては美和ロック(株)本社、支店、営業所へお問い合わせください。

保証書

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
当社製品の保証は、下記記載の規定によります。
保証期間内に故障が発生した場合、下記販売店（工事店）に修理をご依頼ください。
尚、修理の際には本書をご提示ください。
本書は再発行いたしませんので、紛失しないように、大切に保管してください。

保証期間		引き渡し日より２年
品名・型式		４回線型電気錠操作盤　ＢＡＮ－ＡＳ４
引き渡し日		年　　月　　日
お客様	ご住所 ご芳名	〒　　ＴＥＬ　　（　　） 様
販売店	住所 店名	〒　　ＴＥＬ　　（　　）

１．保証対象は、下記通りです。
（１）美和ロック(株)が製造・販売する４回線型電気錠操作盤ＢＡＮ－ＡＳ４に適用します。
（２）バッテリー等の消耗品は、保証対象となりません。
（３）この規定は、日本国内においてのみ有効です。

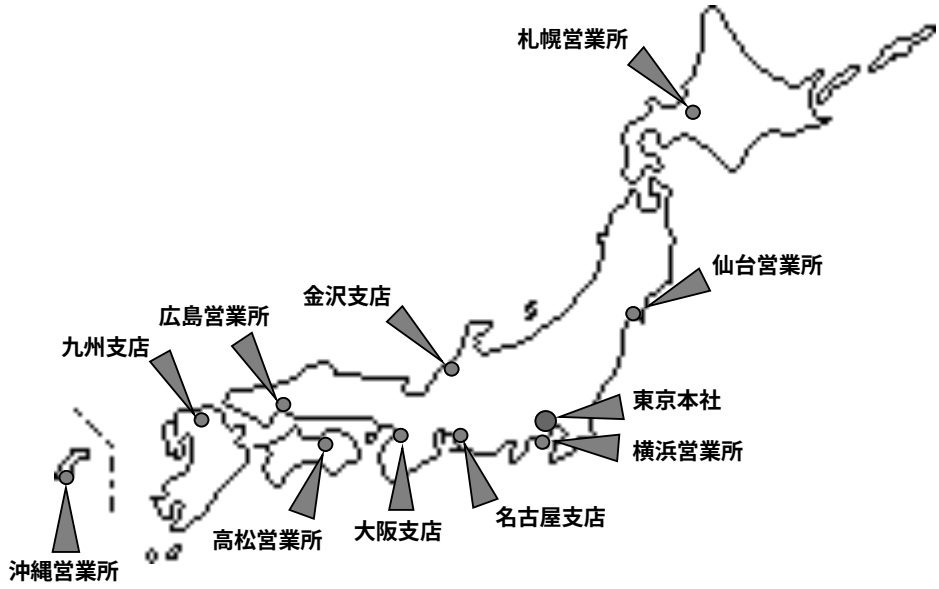
２．保証期間中に、製品に不具合が発生した場合、修理または交換致します。

３．保証期間内であっても、次の場合は有償となることがあります。
（１）ご使用方法の誤りによる故障、および損傷
（２）当社および当社認定店以外の第三者が、改造・修理した場合
（３）火災・塩害・ガス害・風水害・落雷等の天変地異による故障、および損傷
（４）保証書のご提示がない場合
（５）保証書に販売店（工事店）引渡し日の記名・記入がない場合
（６）ご使用開始以前の保管・輸送・据付配線工事等に起因する故障、及び損傷

－ＭＥＭＯ－

本社・支店・営業所

日本の主要都市に広がる当社の支店、営業所と合わせ、さらに全国各地に展開する
当社の販売店およびサービス代行店が、全国的なネットワークを形成しています。
受注から納品、そしてアフターサービスまで、お得意様のご要望にいつでも
どこでもスピーディに応じられるよう万全の体制づくりに努めております。



美和ロック株式会社

本　社：東　京：東京都港区芝３丁目１番１２号　〒105―8510　電話：０３（３４５２）５５５１（代）
支　店：金　沢：金沢市東力４丁目２００番地　〒921―8016　電話：０７６（２９２）０００７（代）
名古屋：名古屋市千種区千種３丁目３７番１３号　〒464―0858　電話：０５２（７３１）０５５５（代）
大　阪：大阪市城東区東中浜５丁目７番３５号　〒536―0023　電話：０６（６９６２）５５５１（代）
九　州：福岡市中央区大手門２丁目４番１４号　〒810―0074　電話：０９２（７４１）５５５１（代）
営業所：札　幌：札幌市中央区北５条西１９丁目２６番２４号　〒060―0005　電話：０１１（６２１）５１５５（代）
仙　台：仙台市青葉区一番町１丁目１４番２３号　〒980―0811　電話：０２２（２２４）５５５１（代）
横　浜：横浜市保土ケ谷区上星川町３３０番地４　〒240―0042　電話：０４５（３８１）５５５２（代）
広　島：広島市西区中広町３丁目３番２号　三進ビル内　〒733―0012　電話：０８２（２９５）５５５１（代）
高　松：高松市今里町２丁目１０番地２０　〒760―0078　電話：０８７（８６２）５５５１（代）
沖　縄：沖縄県那覇市泊３丁目１番２３号　〒900―0012　電話：０９８（８６７）５５５１（代）